

目標達成計画

作成日: 平成23年12月13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人全体の理念だけでなく、グループホーム独自の、わかりやすい理念を新たに作り、そこから具体的な計画や目標を決めて実施する方がいいのではないか。	グループホーム独自の分かりやすい理念を作る。	グループホームの理念を作る。その理念に基づき毎日のケアを行う。その理念を職員全員が理解してもらえるよう目の届くところに掲示などを行う。	3ヶ月
2	10	意見や苦情を見逃している恐れがある。内容とその対応を記録として残し、職員間での共有を図る。意見箱の設置や、家族会の開催を促すなど、意見が言いやすい環境の整備を行う。	家族等の意見を聞きやすい環境を作る。	意見箱を設置した。家族との会話の中から苦情等に繋がる意見を頂きだし、職員間で見直し・検討を行う。それを記録に残し共有する。	12ヶ月
3	20	訪問理美容が来たり、同一法人内に医療機関がある等、便利な場面が多い反面、それまでの関係が切れてしまっている。	本人の希望を聞き、入居前の馴染みに接する機会を作る。	個別のお出かけで本人の馴染みの所へ行く機会を作る。馴染みの方に面会や電話を依頼する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。